

簡易遠隔操縦装置(ロボQS)の開発

- 災害発生後、調達しやすい重機(油圧ショベル)に現地で設置可能な簡易遠隔操縦装置を開発。
平成29年4月から九州技術事務所へ配備。

簡易遠隔操縦装置の必要性

[背景] 緊急に復旧作業が必要な災害現場において、迅速かつ安全に作業を行うことが重要。

[課題] 遠隔操縦可能な重機が市場に少ない。現地搬入に時間が掛かる。

[解決策] 重機に簡単に設置でき、容易に運搬できる装置の開発。

簡易遠隔操縦装置(ロボQS)の開発コンセプト

- 誰でもすぐ設置
 - ・ 30分程度で設置可能
- どれにでも設置
 - ・ 既存の重機(油圧ショベル)にメーカー問わず設置可能
- すぐ運転
 - ・ 設置後すぐ作業可能、装置設置状態での搭乗運転も可能
- すぐ運搬
 - ・ 分割可(1BOXで運搬)、空輸可



土砂崩落現場
(阿蘇大橋地区)

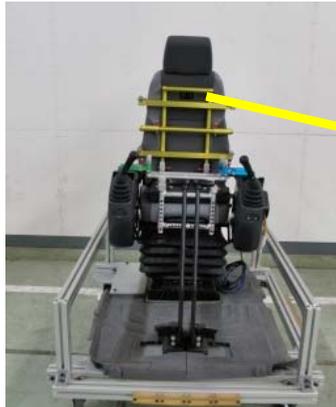
遠隔操縦による復旧作業例



簡易遠隔操縦装置の分解状況



装置設置状態での搭乗状況



簡易遠隔操縦装置の設置状況



梱包状態(運搬荷姿)